

坂田クリニック透析室拡大 ー外来透析のベッド状況改善のため増床ー

現在、玄々堂君津病院および併設の坂田クリニックと玄々堂木更津クリニックでは、総数約540名の患者さまの透析を行っている。

近隣地区からの紹介患者さまが増加し、毎月数名の新しい患者さまの透析を導入している。そのため、各透析施設では受け入れ体制を整備し、調整を図っている現状である。

今回、坂田クリニックにおいて、4月に改修工事が完成し、患者さまに安全で安心した環境を提供できるように、医師・薬剤師・臨床工学技士・看護師などで協力体制を整え、稼働に向けて準備をしている段階である。



ナースステーションを一部改修して増床した坂田クリニック



空模様の壁紙を利用した腎臓内科外来待合室

工事内容は、1階に透析患者さま専用の待合室とロッカーを移動し、新たに腎臓内科外来待合室を設置した。2階のナースステーションは一部改修工事をして、8ベッドを増床した。

当院顧問弁護士、浜名儀一先生をお招きし、「生殖医療の発展と親子関係」「医療の安全を目指して」というテーマで講演をいただいた。主に、裁判の具体的事例を用いた講演内容で、問題の複雑さ、難しさを知ることができた。

医療の安全を目指して 第17回安全対策講演会開催

2月2日、ホテル千成にて第17回安全対策講演会が行われ、163名の職員の参加があった。

当院顧問弁護士、浜名儀一先生をお招きし、「生殖医療の発展と親子関係」「医療の安全を目指して」というテーマで講演をいただいた。主に、裁判の具体的事例を用いた講演内容で、問題の複雑さ、難しさを知ることができた。

「透析を知る」シリーズ 研修会行われる

1月25日、坂田研修室にて病院教育委員会主催の「透析を知る」というテーマで研修会が行われ、66名の職員が参加し、透析についての知見を深めた。

岡崎陽子看護師長より透析患者

診療報酬改定について

玄々堂君津病院事務長 大野 八朗



事務長
大野 八朗

人口の高齢化が進む中で医療費の増加が問題とされ、これ以上の増加を抑制するために次々と医療制度改革が実施されています。医療費抑制の国の施策の一つとして2年に1度の診療報酬改定があります。前回2006年度の改定

においては過去最大の引き下げ率の△3.16%となり、多くの病院で収入減となり、経営状態が厳しい状況となりました。当院においても大幅な収入減となりましたが、職員一丸となって効率化、経費削減等に取り組む、健全経営を保ちながら地域医療を担ってきたところです。2008年度の改定では8年ぶりに診療報酬本体部分の引き上げが+0.38%となりましたが、薬価・材料費1.2%の引

き下げを差し引くと診療報酬全体では0.82%引き下げとなり、4回連続のマイナス改定となりました。今回の改定では大幅な変動はありませんでしたが、緊急課題であった①産科・小児科への重点評価について②診療所・病院の役割分担等について③病院勤務医の事務負担の軽減について④救急医療対策について、に重点が置かれた内容となっています。

また2008年4月より、後期高齢者医療制度が始まりました。老人保健法では、被保険者の年齢や窓口負担金等の引き上げ等を行うなど制度改正を行ってきましたが、

第85回糖尿病学習会

2月9日、君津中央公民館にて糖尿病教室が開催された。今回は調理実習が行われ、男性の参加者も多く、和気あいあいとした実習となった。テーマは、「素材を生かしたクッキング」で、砂糖・塩・しょうゆを最小限に抑え、食材の香りや旨み、だしの工夫でおいしく食べられる料理を5品作った。

「白身魚のあんかけ」は、季節の香りのよい野菜をのせることによって、薄味でもおいしく食べられる一品であった。また、「春菊と林檍の白和え」は、砂糖を使わずに林檍の自然な甘みを利用した。「ふきご飯」と「カレー肉じゃが」は、かつお節と昆布を合わせた旨みの深いだし汁を利用したので、薄味でもコクのある料理に仕上がった。低エネルギーメニューであるが、ボリューム感あるメニューという意見を参加者より頂いた。



調理実習メニュー

第20回院内看護 研究発表会開催

3月2日アカデミアホールにて

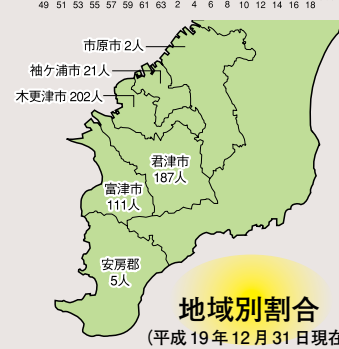
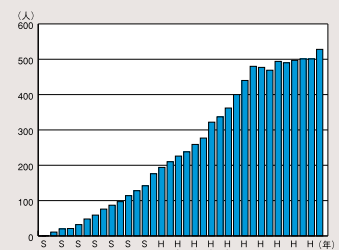
2月17日、かずさアカデミアホールにて、看護師全員を対象に看護倫理研修が行われた。講師に、看護コンサルタントの北浦

3月16日、千葉リバーレーンにて、千葉県医療健康保険組合主催の「第37回被保険者ボウリング大会」が行われた。

健保組合 「ボウリング大会」健闘

当院からは13名が参加し、1チーム5名の団体戦と、個人戦にエントリーした。応援にも力が入る白熱したゲームとなり、結果は団体戦10位、個人戦は最高8位であった。

当院の透析患者動向



地域別割合
(平成19年12月31日現在)

看護師全員 「看護倫理」を学ぶ

2月17日、かずさアカデミアホールにて、看護師全員を対象に看護倫理研修が行われた。講師に、看護コンサルタントの北浦

暁子先生をお招きし、看護師の基本的責務について講義していただいた。なぜ今倫理が必要なのか、社会背景や医療現場のリスクが盛り込まれた講義内容で、看護倫理とは何かを考える良い機会となった。

入社式行われる

4月1日、坂田研修室にて平成20年度入社式を行い、院長より新入職員25名に辞令が交付された。



看護管理研修で「バランス・スコアカード」を深める

1月24日、君津勤労者総合福祉センターにて看護管理研修が開催された。看護部長はじめ師長と主任総数29名が参加し、「バランス・スコアカード」を用いて立案した看護部目標を見直す機会となった。

矢後専志先生退任 新任医師3名着任

平成16年9月1日より病棟担当医をしていた矢後専志先生が3月31日退任となった。1月7日から、千葉大学医学部附属病院・血液内科より根津雅彦先生と東京医科大学病院・血管外科より佐藤和弘先生、2月1日から小豆沢病院内科より橋詰史朗先生が着任した。

メンタルヘルス研修 「暴力・暴言に対する対応」を学ぶ

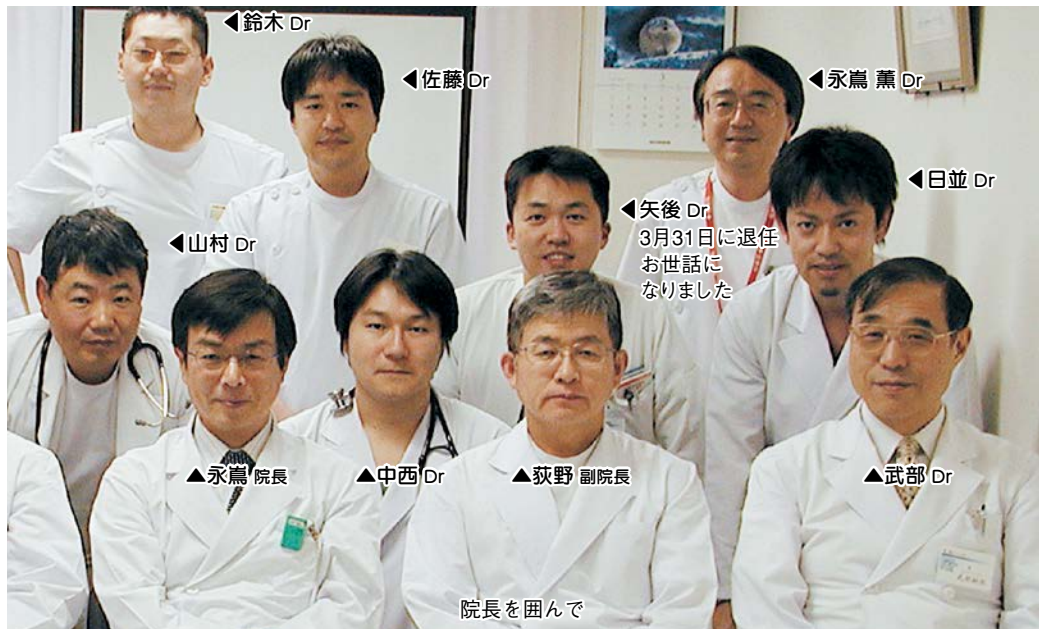
1月26日、27日および3月29日、31日に、周西公民館にてメンタルヘルス研修が行われた。

今回は第1回に続き、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授の三木明子先生を講師にお招きして、「暴言・暴力に対する身体・言語の方法」というテーマでご講演いただいた。参加者は1回く3回合計で57名となった。

部署紹介コーナー

～ 医 局 ～

今回は、最近ゆとりができてやさしく(?) になった医局を紹介します。



情報交換の大切さ

副院長 大崎慎一

医局は常勤医師15人、非常勤医師42人、医局秘書2人からなるチームで、スペースの関係で一人一人を紹介できないのがとても残念です。私達の医局はいろいろな科の医師が一緒に集うことが特徴で、そのため専門分野を越えたコミュニケーションがとて良く、お互いに相談しあうことで診療に生かされています。

各々の医師には、専門分野やスペシャリティーがあります。しかし当院では伝統的に、診療の現場においてはあえて専門性を前面に出さないで、総ての医師が担当患者さまの主治医として悩みを一緒に解決していく姿勢を大切にしています。そのためにも、私達は違う専門領域の医師と連携して情報を得つつ、個々の担当する患者さまにフィードバックすることがとても大切だと考えています。さらに常勤医師でカバーできない領域は非常勤医師の力をお借りして、当院が地域から求められる診療が出来るように努めています。

一方で、診療の情報を患者さまや御家族の方と共有する事もとても大切です。医局では秘書がインターフェイスとなつて、医師と御家族が同じ立場で治療に取り組めるよう話し合いや説明の場を設定するなど、様々な調整を行っています。

今後も医局を介して様々な情報を交換し合い、さらにレベルの高い開かれた医療が提供できるように努力していきたいと考えています。よろしくお願ひ致します。



△大崎 副院長



ミーティング風景



浜名儀一先生による安全対策講演会内容

安全対策講演会内容

2月2日に、①生殖医療の発展と展と親子関係②医療の安全を指してというテーマで、当院顧問弁護士の浜名儀一先生に講演していただきましたので紹介致します。

具体的に過去の判例をあげてお話をさせていただき、問題の複雑さ、難しさがよくわかる講演でした。

① 生殖医療の発展と親子関係

生殖医療の面では凍結精子を用いた体外受精や代理出産など、医療技術の進歩により様々な事が可能となつてきています。その為、法律では想定していない事象が生じることがあります。裁判が行われるようになりました。

タレントの向井亜紀さん、高田延彦さん夫妻の件など、世間の関

② 医療の安全を指して

医療安全については事故や過失ではないながらも、医療機関側が責任を問われる事例をお話いただきました。

一昔前の医師による裁量権がどんどん認められなくなり、インフォームドコンセントの重要性が語られると同時に、説明義務の難しさについても触れてくださいました。医師が診療治療を行う中で、日常的には困難だと思われるぐら

親身に二人ひとりの患者さまと向き合わなければ、訴えがあった場合に罪に問われる場合もあるという厳しいお話でした。紹介していただいた判例はどれも地裁、高裁、最高裁と、上告する度に結果がくつがえされているとのこと、その事からも問題は非常に複雑で難しいと感じられます。

医療技術が高度化すると、インフォームドコンセントも難しくなると予想されますが、我々の業務は常に患者さまが主体であることを忘れずに日々努めなければいけないことを再認識しました。



クローズアップスタッフ

Produced by K.Nakao

今回のクローズアップは、2月より常勤医として着任された、橋詰史朗先生に近況をインタビューしてみました。

Q・着任されて間もないですが、玄々堂君津病院には慣れましたか？
橋詰先生・こちらに来ては2ヶ月が経とうとしております。ようやく色々な手続きなどに慣れたところです。

Q・当院の雰囲気はいかがですか？
橋詰先生・この病院の印象は、とにかく「働きやすい！」ということでしょうか。あとは「気持ちのいい挨拶」が印象的です。

Q・医師として大切にしている事と、これから力を入れていきたいことを教えてください。

橋詰先生・大切にしている事は、「人間相手（病気相手ではない）」と言うことと、「わかりやすい説明を心がける」と言う点です。これから先、力を入れてやっていきたいことは、「どこに行っても医者として困らない」ために必要と思われること、全てです。

Q・最後に一言お願いします。

橋詰先生・内科医として配属させて頂きましたが、まだまだ内科と胸を張って言えるだけのものではありません。日々、ご迷惑をおかけしておりますが、これからもご指導よろしくお願いいたします。

いつも笑顔で、謙虚な先生のお人柄があらわれる内容となりました。私も先生に負けないよう、頑張りたいと思います。

ボランティア活動ニュース

ボランティア

学習会・交流会開催

3月29日、玄々堂君津病院ボランティアグループ学習会交流会を行い25名のボランティアが参加しました。

健康講演では、小泉管理栄養士が「塩のお話をテーマに、実際に塩分濃度の違うみそ汁を飲み比べるなど、普段の生活で塩分と上手につき合う実践的な講義を行いました。」



平成19年度の活動表彰では、「活動5周年表彰」4名、「年間50時間活動表彰」17名の方が達成され、永島嘉嗣院長より感謝状と記念品が授与されました。また、病院からボランティアさんへ感謝の気持ちを表す「Thank you letter」には、茅野副院長より挨拶が寄せられ、大神看護部長より参加した全てのボランティアの方へ手渡されました。

た。



ボランティア交流会に参加しました。



医局員をよろしくお願いします

平成20年度 新入職員 オリエンテーション

4月1日、2日に、新入職員および中途採用者を含めて32名のオリエンテーションが行われました。1日目には、山口事務部長に病院の概要、大神看護部長に病院勤務者の心得、川崎師長に安全対策などの説明を受けました。2日目には、大野事務長に就業規則、中田師長に感染対策、木村教育師長に接遇研修や救急救命法の実技訓練を受けました。グループワークでは、積極的に意見交換する姿が見られました。



接遇 電話対応

看護師の基本的責務について — 看護倫理を学ぶ —



北浦 暎子先生

をすべきかを問い、これに答える営みを言います。

3. 倫理原則の理解

倫理原則の中核を貫いているのは他者の尊重であり、看護師の倫理規定に反映されています。

(1) 自律の原則

人は自律した存在であり、自分を管理する能力を持っています。自分で選択した計画に基づいて自分の行為を決定し、実行する個人的な自由が許されています。

(2) 善行の原則

看護師は、善ということによって、患者さまに必要とされるケアを提供しているつもりでも、患者さまには不利益と受け止められることがあります。善の見方や考え方、それらの関係、割合などをよく考えてみる必要があります。

(3) 無害の原則

有害なことをしないことと、害あるいは害の危険性を回避することを予測する必須です。

(4) 正義の原則

対等である人間をいかに対等に扱うかということ、社会における負担と利益の分配をいかに公平に行うかが問われます。

(5) 真実の原則

人が自律した意志決定を下すためには、真実の情報が提供されなければなりません。

(6) 忠誠の原則

人を尊重することの一面面を表しており、約束を守ることや秘密を守ることなどが挙げられます。

2. 看護倫理とは

看護実践において正しいことは何か、どうすることが善いことなのか、看護師として私は何

薬局の新しい取り組み—SPDサービス

当院では使用する薬品の調達から供給および保管までを三元的に管理するSPDシステム(Supply Processing Distribution)を導入しています。

SPD導入による効果として、在庫量の削減や請求書の削減、購入額の削減などがあげられます。今回実際にSPDサービスを担当している薬局に業務内容をお聞きしたので紹介します。

SPD(院内物流代行の略)を2004年より委託され、女性社員3名にて運用しており約3年経ちます。スタート当初は病棟の在庫管理と薬品の受発注管理を試行錯誤しながら行っていました。現在では病院内すべての部署の定数在庫管理、期限管理を行うまでになり、期限切れや部署での不用品などが発生しないように定期的に取り組みしております。

クにおきましても週一回ですが訪問して定数在庫管理を行うことになりました。常に安定した在庫管理を行うことにより現場看護師、ナースエイドの皆様からお褒めの言葉を頂くこともあり働く励みにもなっております。SPDは別名「さつとばつとだす」とも言われます。迅速にかつ確実な業務提供を



後期高齢者医療制度とは

平成20年4月から、75歳以上の方は「後期高齢者医療制度(長寿医療制度)」で医療を受けることになりました。

保険者証の提示

「後期高齢者医療被保険者証」は届きましたか。病院受診する際には必ず提示して下さい。

自己負担

1割

(現役並み所得者は3割)

被保険者

75歳以上の方

(一定の障害がある方は65歳以上の方)

私は特にマラソンが趣味という訳ではありません。むしろ長い距離をただひたすら走って疲れるだけのスポーツという偏見を持っていました。そんな私ですが今回、館山市で行われた若潮マラソンに病院職員総勢7名、応援団3名で参加してきましたので、そのことについて書きたいと思います。「素人が約3ヶ月の練習でフルマラソンを完走することができたのか」という無謀な企画を提案してきたのは栄養科の西井主任でした。面白そうだと飛びついた職員が自分を含めて10名ほどいたと思います。諸事情で本番に参加出来たのは7名ですが、当日まではお互い顔を



木更津クリニック事務 山口 伸行

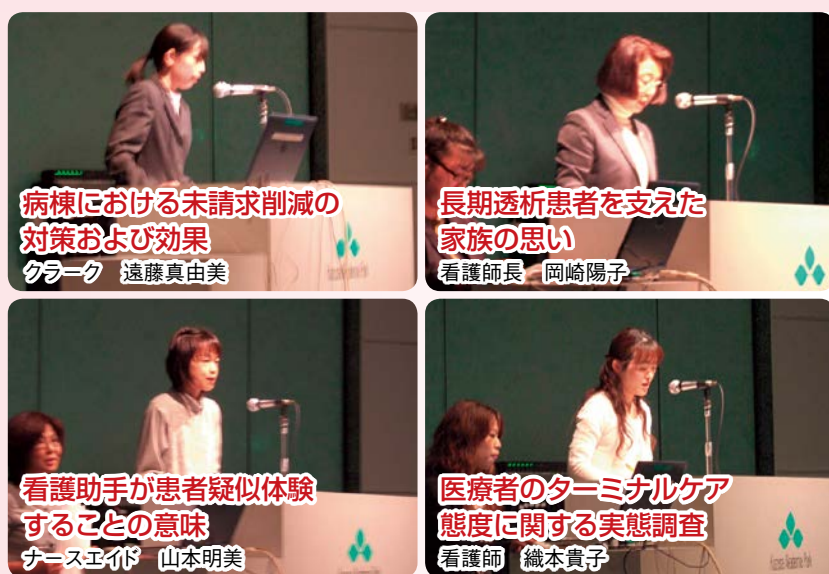
合わせる度にいろいろと情報交換をしました。(スクワットをやっておいたほうがいらしい。誰々は既に何キロ走ったらしい。誰々は膝を痛めたらしい等。そんなやりとりも含めて初マラソンへの挑戦は、本番までの準備期間をとても楽しむ事ができました。最初は15分続けて走るのがやっとでしたが、それが30分、1時間と伸びていきました。ウェアやシューズを選び、練習メニューを決めて、栄養学や走り方の情報を集めて研究するといった準備の一つ一つが、42.195キロという未知の距離への不安を徐々に期待へと変えてくれました。そしてレース本番は房総の雄大な景色を楽しみつつ、沿道の方々の声援やボランティアの方々(給水所)に支えられながら、ほぼ予定通りのペースで走りきる事ができました。一緒に参加した仲間



フルマラソンへの挑戦

た人、練習不足を悔やむ人など様々でしたが、ただ疲れただけで終わった人はいなかったようです。新しい事へのチャレンジから得られた充実感や達成感を感じた以上に格別なものでした。あまり本格的に続ける気はありませんが、今後機会があれば国内のレースにも出てみたいと思っています。あれ？これって趣味ですね。

第20回 院内看護研究発表開催



病棟における未請求削減の対策および効果 クラーク 遠藤真由美

長期透析患者を支えた家族の思い 看護師長 岡崎陽子

看護助手が患者疑似体験することの意味 ナースエイド 山本明美

医療者のターミナルケア態度に関する実態調査 看護師 織本貴子



三木明子先生による講評



記念のボールペン

3月2日、アカデミアホールにて第20回院内看護研究発表会が開催されました。今回は20回記念ということで、最近、日本看護学会で発表された8題のポスターを展示し学会発表の雰囲気に参加者に味わっていただきました。参加者は院外から33名、院内から145名で合わせて178名の参加がみられ、活発な意見交換がなされました。筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授の三木明子先生から講評をいただき、研究を継続して絞り込んでいくことで現象が深められていくことや安全対策を含め研究する意義を考えていくことを学びました。「第20回玄々堂君津病院看護研究発表会記念」と記されたボールペンが、20回記念として参加者へ配布されました。

人事往来

【役職変更】

- 臨床検査科主任 平野 繁治 (3/1付)
- 看護師長 平野 明美 (4/1付)
- 看護師主任 野村 アコ (4/1付)
- 看護師主任 小松 裕子 (4/1付)
- 経理課主任 佐藤 亘 (4/1付)
- 坂田クリニック事務課主任 有富 徹哉 (4/1付)

【異動】

(1月2日～4月1日まで) ()内は旧所属部署

- 2階病棟 戸祭ヨシエ (3A病棟)
- 3B病棟 石渡 寛子 (手術室)
- 外 来 茂田 昌子 (看護部長室)
- 手術室 藤原 太子 (2階病棟)
- 透析室 中島由祐子 (坂田クリニック)
- 透析室 鈴木 優太 (坂田クリニック)
- 坂田クリニック 佐野 智美 (看護部長室)
- 坂田クリニック 伊藤 美和 (透析室)
- 坂田クリニック 及川 文子 (木更津クリニック)
- 坂田クリニック 鈴木富美恵 (透析室)

【新入職員】

(1月2日～3月31日まで)

- 医師 佐藤 和弘 (1/1～)
- 医師 根津 雅彦 (1/1～)
- 医師 橋詰 史朗 (2/1～)
- 看護師 大田 邦子 (3/17～)
- クラーク 柳原 禎乃 (1/25～)
- クラーク 天野 志保 (2/1～)
- クラーク 鈴木 美穂 (3/1～)
- ナースエイド 古宮 亜希子 (2/25～)
- 放射線科助手 八木下みか子 (1/21～)
- 調理員 松本 健治 (2/7～)
- 調理員 藤田 敦子 (2/7～)
- 総務課 齋藤 信夫 (2/1～)

平成20年度 新入職員紹介

臨床工学技士



さとう 貴仁

おおこ あすか

みづぐち りよ

看護師



しみず さゆり

ひらの まゆみ

もとむら いっせい

もり みさき

医事課



こじま りの

かいせ まみ

やまぐち あやか

医師事務作業補助者



やまぐち あやか

栄養士



たかはし なつ美

薬剤師



たけだ みか

放射線科助手



しげおか ゆうと

クラーク



しちじ まりえ

わたなべ ちひろ

おぐら よしえ

くさの みほ

准看護師



わだ こそえ

訪問介護員



やまぐち みよ

ナースエイド



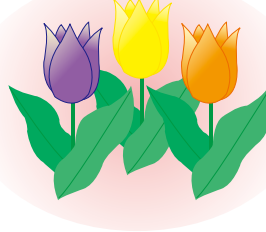
かみや あけみ

はた エメラルダ・フロレス

たかぎ あすか

やまざき あや

やまざき あや



サブタイトルは

“のこぎりやま”

今回は南房総にある鋸山を紹介したいと思います。

南房総の玄関ともいえる鋸山はその名のとおり鋸の形をしていて、頂上に立つと東京湾を始め富士山・三浦半島・伊豆半島から伊豆七島と関東一面を見渡せる一大パノラマが広がっています。また総高31.05メートルある日本最大の大仏さまや空中に突き出た岩の上にある断崖絶壁につきだした展望スポット



「地獄のぞき等の名所が多々あり総てを鑑賞するには二日を要するといわれています。頂上へ登るにはロープウェイを利用すればわずか3分程度なので、たまの休日自然の空気を吸いながら観光してみたいかでしょうか？」

- ▼子供からの自立を目指して明るく生きて行こう。(東方神起)
- ▼少しずつコツコツやれたらいいなあ。(J-J)
- ▼新年度、気持ちも新たに頑張ります。(タケル)
- ▼今回も頑張りました。(ワイキキ)
- ▼新入新聞委員です。頑張ります。(スィバケ)
- ▼体質改善。(P-T)
- ▼楽しい行事をいっぱい発見できるよう頑張ります。(もも)

編集後記

今年こそいろんなお花見に行きたいなあ。(K太)

春になったら、心の温まる医療がしたいですね！。(shin)

今年から新聞委員会の仲間入りしました。よろしくお願ひします。(325)

今年の春は花見に行けなかった残念です。(MOSU)

車中で「ひとり薩摩路」を聴いてストレス解消中。(山口 稔)

今年度のヒューマン編集委員です。



よろしく
お願いします。

私のおすすめ図書

このコーナーは職員によるバトンリレー方式で本を紹介しています。今回は、『愛と死をみつめて』の本を紹介しています。

この本は、21歳の若さで不治の病に冒されながらも懸命に生きた「ミコ」こと大島みち子さんとそれを遠く離れた東京から支えた「マコ」こと河野実さんの約3年間に及ぶ文通の記録です。3年間で二人が書いた手紙は、なんと400通以上にもなったそうです。お互いを想うあまりの嘘や自殺未遂をも乗り越え、純愛を育んでいったミコとマコ。二人の健全な内容の手紙を読んでいくうちに思わず涙が溢れ、胸が熱くなりました。



パソコンや携帯電話のメールが主流の時代、ミコやマコのように手紙を書いて思いを伝えてみるのも良いかもしれません。(R・A)

平成20年度

幹事紹介



幹事長 刈込 秀樹

平成20年度の互助会幹事長を務めさせていただくことになりました。ただ、臨床工学科の刈込秀樹です。大役を仰せつかり責任の重さを感じて

おります。本年度も新人歓迎ハイキングをはじめとする病院行事が多数予定されています。諸先輩方に学びまた森、淵上両副幹事長ならびに幹事職員の皆様方にご協力をいただきながら、二年間前向きに取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

幹事会新メンバー

幹事長 刈込 秀樹

副幹事長 森 陽介

幹事 藤田 祥子、岩下 幸子、野田百合子、齊藤絵里奈、星野 嘉代、山本由美子

副幹事 淵上 孝一、藤井 京子、小倉佳代子、武内 美樹、立石 人見、米元ゆかり

(順不同)

玄々堂君津病院 平成20年4月 外来担当医師診療予定

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
一般外来 (初診・再診) 一般内科、外科 消化器科、総合診療科 (予約は要りません) (医師指定が可能です) ○女性医師です	午前 武部医師 永富院長 (10:30迄) 荻野副院長 (10:00迄) 日並医師 (11:00～) ○時苗医師 (14:21・28日) 古賀医師 (7日 11:00～)	永富院長 (10:00迄) 大崎副院長 綾部医師 常勤医師 (10:00～)	高田名譽院長 (9:30～) 永富院長 (10:00迄) 根津医師	高田名譽院長 武井医師 中津医師	紫芝医師 ○上医師	高田名譽院長 永富院長 常勤医師 (12日) 竹田医師 (5・19日) 野尻医師 (26日)
	午後 永富院長 常勤医師 (7日) 根津医師 ○時苗医師 (14:21・28日)	山村病棟診療部長 日並医師	武部医師 根津医師 ○時苗医師	大崎副院長 ※24日休診 武部医師 常勤医師 (24日)	永富院長 紫芝医師 ○古賀医師	永富院長 佐藤医師 (12・19日) 石丸医師 (5日) 野尻医師 (26日)
	夜間 常勤医師 佐藤医師 ○時苗医師 (14:21・28日)	荻野副院長 大崎副院長 中西医師	山村病棟診療部長 橋詰医師 ○時苗医師	中津医師 ○上医師	鈴木医師 武井医師	
専門外来 (予約が必要です) ○女性医師です	内分泌・糖尿病 神経内科 血液内科 循環器科 物理療法科 (リウマチ) 呼吸器科 腎臓科 腎臓科 (坂田クリニック) 整形外科 泌尿器科 外科系専門科 (腎臓・乳腺)	腎臓科 腎臓科 (坂田クリニック) (腎不全) 腎臓科 (坂田クリニック) 泌尿器科 泌尿器科 (午前9:00～) 大崎副院長 (午後) (臓器不全、腎、一般) 長谷川医師 (午後) (乳腺、一般) 8日休診	荻野副院長 (午前) 神経内科 ○清水帝京大病院教授 (1・15日午前) 循環器科 緑部医師 (午後)	血液内科 根津医師 (午前) 循環器科 中津医師 (午後) 腎臓科 (坂田クリニック) 大庭医師 (終日) 呼吸器科 荻谷医師 (午前・午後) 廣瀬医師 (午前・午後) ※10日休診	神経内科 尾野帝京大病院教授 (午後) 腎臓科 永田医師 (終日) 大崎医師 (午前・午後) 永富院長 泌尿器科部長 (午前・午後) ※25日休診	荻野副院長 (午前・午後) 紫芝医師 (26日午前・午後) 循環器科 竹田医師 (5・19日午後) 長崎医師 (12・26日午後) 物理療法科 (リウマチ) 高橋医師 (12日午前・午後) 松井医師 (5・26日午前・午後) 十字医師 (12日午前・午後) 道下医師 (5日午前・午後) 岡田医師 (19日午前・午後) 佐藤医師 (26日午前・午後) 薬理医師 (午後) 永富院長 泌尿器科部長 (5・19日午前) 橋本医師 (12日午前・午後) 小林医師 (26日午前・午後) 小沢医師 (19日午前・午後) (乳腺外科)
医師別外来 (再診・予約制)	武部医師 (午後) 鈴木医師 (午後)	茅野医師 (午前・午後) ※1日休診	高田名譽院長 (午後) 武部医師 (午前) 荻野副院長 (午前) 山村病棟診療部長 (午後) 中西医師 (午後) 湯城医師 (2日午前)	高田名譽院長 (午前) 日並医師 (午後)		

※一般診療医師予定に関しては、変更になる場合がありますので、当日確認してから来院ください。TEL0439-52-2366 係：伊藤・大口
外来診療時間／午前8:30～12:00 午後14:00～15:00 夜間18:00～19:00
再来受付機稼働時間／午前7:50～12:00 午後12:10～15:00 夜間15:10～19:00 ※土曜日の夜間診療はありません。